

— 学 会 録 事 —

1. 第3回国際藻類学会議の検討

この件についてのワーキンググループ設定とその人選は、本年8月の臨時総会で会長一任とされ、その結果、このグループは、岩本会長のほか、千原光雄、堀輝三、徳田 廣、小林 弘、有賀祐勝、吉田忠生、梅崎 勇、榎本幸人で構成され、第1回検討会が10月19日午後東京水産大学植物学教室で開催された。遠隔地の吉田、梅崎、榎本の3氏は欠席されたが、最近の国際会議開催要件などをうかがうため、日本学術会議国際会議係長安達氏と山本係員のご出席を得た。

検討会では次のことが話しあわれた。

- 1) 第1回のカナダ、1971年札幌での国際海藻学会議の様子から、日本で開催した場合の参加者数は最高400人、外国人は半分はいくまい。
- 2) 会議開催を賄う経費は参加費、国の助成金、財団等の助成金、展示費、一般の寄附金が考えられる。

本学会議のように小規模なものでは、国の助成金をもらうことと、大蔵省から免税募金の認可を得ることが極めて困難な現状である。したがって、これらが無いつもりで検討を進める必要がある。

3) 参加費は5万円では高過ぎる。3万5千円が限度であろう。来年コペンハーゲンでの参加費は3万6千円位、1971年札幌での国際海藻学会議は参加費30米ドル（当時約10,800円）であった。

4) 開催する場合の会場候補として、札幌市教育文化会館、筑波学園都市、京都国際会議場、神戸国際会議場などの公的機関があげられ、それらの資料に基づいて検討が行われた。

5) 免税の裏付けのない募金で、どの程度の寄附金などが集められるか次回までに会長などで心当りをあたることとし、次回の会合は11月下旬とした。

(岩本記)

新 入 会

住 所 変 更

訃 報

下記の会員が逝去された旨、事務局に連絡がありました。ここに慎んで哀悼の意を表し、ご通知申し上げます。

正会員 三重県 佐藤 忠 勇氏

